

grunge レンジャー ～ rider と grunge ～

grunge

MTB 系オリジナルブランド「grunge グランジ」は、MTB 全盛期から少し時が経った 1994 年に誕生しました。市場はフラットバーからライザーバーが主流になり始めており、ブランド開始当初は既製品に少しのアレンジを加えたり、ワクワクするような着せ替え感覚の製品が多く、当時珍しかったホワイトカラーのパーツを前面に押し出しラインナップしていました。(Vol.33 参照)

▶ grunge では、時代やシーンに合わせて派生ブランド(セカンドネームシリーズ)が増えていき、2008 年にアーバンラインの「B-witch ビーウィッチ」、翌 2009 年にはハンドルバーバッグやすでに発売をしていたキャリアなどを内包する形でバイクライフシリーズ「B-WeVer ビーウェバー」が誕生、2014 年にはブランドや枠にとらわれない「grunge range グランジレンジ」が誕生。

▶その後、MTB も競技志向だけではなくファンライドな楽しみ方をするライダーがますます多くなり、2016 年にアドベンチャーやグラベル寄りのフィールドを意識し、元シクロクロス全日本チャンピオンであり MTB でも輝かしい成績を残すライダーであった、弊社元社員「辻浦圭一」氏と立ち上げたのが「RANGER レンジャー」でした。

RANGER

▶2017 年にレンジャーとして初の製品「レンジャーバー」「レンジャーステム」が登場。29er やカーボンフレームが主流となりハンドル位置が上がったことにより、これまでのライザーバーではポジションが出しにくくなった経緯から、ライズの浅いハンドルバーが欲しいとの要望を受けました。試行錯誤を重ね完成したレンジャーバーは若干のライズを確保しながらもフラットトップにすることでスマートに仕上げ、ステムは下側オフセットによりハンドル位置を低くセッティングできるものを用意。



▲リラックスしてオフロードをライディングできるように設計された「レンジャーバー」。バックスイープにも調整を重ね自然とグリップ部が手のひらに収まる角度 13° に設定。

▶2019 年に登場した「レンジャーサドル」は、ロードモデルで好評の Dixna「アキレスサドル」をベースにアクティブな MTB に合うようにデザインされた grunge「ベッセルサドル」をさらに快適に長距離の使用でも使って欲しいという思いから、センター部に溝を設け、バンパーデザインも工夫し幅広いバイクに合うようなスマートなデザインに。



▲左からアキレス・ベッセル(完売終了)・レンジャー

▶シリーズ製品は少しずつ増えていき、幅広デザインでナイロン素材を使用したペダル、リムブレーキ対応でシルバーポリッシュに仕上げた MTB 用リム、アンチショック機構を備えたステムやシートポスト、最新では天板を最大 75mm スライド可能にサイドバッグの前後位置を調整できる「レンジャーキャリア」が登場。



▲レンジャーキャリアに B-WeVer「ラインサイドバッグ」を取り付け。アジャスタブルレグにより 26-29" まで対応。



▲レンジャーシリーズ製品一覧。これからも身近なフィールドで楽しめる製品を提案していきたいと考えています。

RANGER・・・grunge コンセプトを受け継ぎつつ、身近な里山やオフロードを気軽に散策するライダー(rider)をイメージ。「rider」と「grunge」から連想し、自然を大切にしながらアクティブに楽しんで欲しいという願いを込めています。

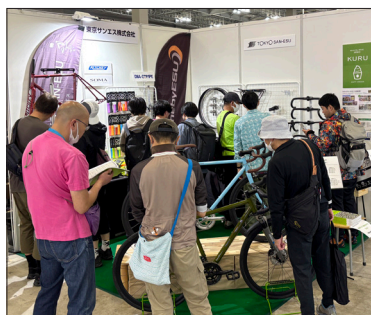
▶レンジャーシリーズの新製品として、今後シングル対応ハブを発表予定です。135mm ボルト止め/142×12mm スルー/148mm Boost・32H・固定ギア対応・センターロック対応で予定しています。(※写真はイメージです)



サイクルモード東京 2025

4月19-20日(土-日) 東京ビッグサイトで開催されたサイクルモード東京。ショップゾーン・ハンドメイドバイシクルコレクション・ヴィンテージバイクマーケットが入るホールは無料入場での開催の試み。

▶オリジナルと取扱ブランドの新製品展示やサンエスベース羽根倉通り KURU・UX の紹介を中心に1小間での出展。Vol.81,82 で取り上げた 10 年ぶりとなるクロモリリムブレーキロードモデル「JFF#503」やバンテジリム・ハブシリーズに多く注目していただきました。お立ち寄りいただいた皆様ありがとうございました。



▲新製品を中心に厳選したものを展示しました。



▲今回試乗車の用意はなく、販売を開始したばかりのリムブレーキモデル #503 と SR SUNTOUR 仕様のアルミツアーモデル JFF#901 を展示していました。(写真右) #503 に装着の OnebyESU「ライトオンブレーキモア」にも多く注目が集まりました。